

風の便り

Vol. 10 No. 8 通刊 125)

「私たちロータリアンは、東日本大震災のことをけして忘れません」

あの3月11日から14年が過ぎました。私の所属するクラブでも例会の開始時に黙祷をささげました。3月11日の例会の事前に、クラブ会長から「ロータリアン希望の風奨学金」が始まった経緯を話して欲しいとの要請がありましたので、お話ししました。その一部をご紹介します。

当時、私は2540地区のガバナーを務めておりました。ガバナー会で討議された内容の一部を書き留めておきましたのでご紹介します。

日本大震災（震災直後はまだ「東日本大震災」との呼称はまだ決められていませんでした）義援金の使途についての協議を目的に緊急ガバナー会議が開催された。2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震から丁度一ヶ月が経過した4月10日、ゾーン1・2・3のガバナー26人が東京品川のグランドプリンスホテル高輪に集合、全員集合とはいかなかったが、大きな被害が発生した2520地区・檜山ガバナー（岩手・宮城）、福島原発を抱える2530地区・大橋ガバナー（福島）も出席された。

今回の震災に対する義捐金の総額は日本赤十字、中央共同募金会やその他の募金をまとめると五千億円が集まるだろうと推測される。集められた義捐金は被災地区の日赤などから自治体を通して被災者に配分される。ガバナー会に寄せられた義捐金は、既にその一部が主な被災地区のガバナーには送金されているが、四月十一日現在、四億九千万を越えている。残りの分を日赤などに寄託するとなると、一時的な話題にはなるが、そこで多くの義捐金の一部となってしまふ。義捐金はロータリークラブやロータリアンの意向が優先されるものであり、市町村や新聞社などを通して日赤などに寄託するのも一つの方法であるが、ガバナー会に寄せられた義捐金にはロータリーらしい使い方があっていいのではないかと、その使途を検討することとなった。

では「ロータリーらしい支援活動」とはどのようなものであろうか。被災地でもある2790地区（千葉）の織田ガバナーの案では、『世界中から集まる義捐金の中に紛れ込ませてはロータリーという団体の性格を生かすことは出来ない。ロータリーの真価が問われるのは災害初期でなく復興期である。被災者の避難生活は長期にわたるし、義捐金の使徒は、被災者を支援することに止まらず、それを通して被災地のクラブがより良いクラブに成長してゆくことまで考えて決定するのがベスト』と述べている。そして、第一次配分は最小限にとどめ、義捐金をしっかりプールし、災害復興期に行政が打ち出す復興支援制度の網で救うことの出来ない様々な困窮事業、例えば、被災孤児の就学支援、被災孤児の進学支援、被災孤児の里親活動、等をクラブの活動として息長く続けることを紹介している。

緊急会議では、阪神大震災や中越地震の際のロータリーの対応が紹介され、多くの提案や意見が出されたが、長期的な取り組みが必要であるとの認識に立ち、義捐金の使途については、被災地のガバナーを含め使途検討委員会を組織することで一致した。

会議の途中でも大きな余震があり、会議が中断される場面もあった。

（以上が、この時のガバナー会で討議された内容です）

2011 ローターリー希望の風奨学金

この後も被害地の訪問や幾つかの協議を重ね、被災遺児に対する支援金を行うことにしました。参加・不参加は各地区の自主性に沿い、義援金の返還を求める地区にはこれに応じることとしました。

この年の10月、参加する10地区を主体に「東日本大震災青少年支援協議会」を立ち上げ、「ロータリー希望の風奨学金」を発足、日台親善会議の台湾からの支援金も加え、奨学生を募集することになりました。その後、2地区からの参加もありましたが、参加・不参加を別にして「ロータリー希望の風奨学金」に協賛した全国の地区・クラブ・ロータリアンからの支援が届いております。

2024年12月～2025年2月 収支計算報告 2月28日現在

		12月実績	1月実績	2月実績
前月繰越金		225,964,381	222,826,536	219,651,076
収入の部	支援金	966,885	934,000	1,096,075
	雑収入	0	0	9,085
収入合計		966,885	934,000	1,105,160
支出の部	奨学金	4,100,000	4,100,000	4,100,000
	振込手数料	0	0	0
	設備費	0	0	0
	通信費	4,730	9,460	4,730
	手数料	0	0	0
	消耗品費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	備品費	0	0	0
	雑費	0	0	0
支出合計		4,104,730	4,109,460	4,104,730
次月繰越金		222,826,536	219,651,076	216,651,506

※雑収入は普通預金の利息です。

奨学生の状況(単位：人数)

2025.01.31 現在

年度	現在	継続	新規	再開	退学	休学	留年	停止	卒業	次月継続
82	82	82								82

プログラム開始からの奨学生は587名、卒業生は406名、休・退学者は99名です。

2024年12月31日現在の給付生は82名です。

地区別支援金 2月分

2520 地区	1 件	1,000 円	2540 地区	5 件	308,715 円
2550 地区	1 件	100,000 円	2570 地区	1 件	96,360 円

2011 ローターリー希望の風奨学金

2580 地区	2 件	270,000 円	2590 地区	1 件	100,000 円
2710 地区	1 件	200,000 円	2790 地区	1 件	20,000 円

※クラブ名等は「ロータリー希望の風奨学金」のホームページの支援者名簿をご覧ください。

ロータリー希望の風奨学金の支援活動をご紹介します

以下は支援金を送金された際、皆様をお願いしております送金確認書のコメント欄に寄せられたメッセージをご紹介します。

2025.02.27 2590地区 川崎北ロータリークラブ
川崎北ロータリークラブ創立65周年記念寄付として

2025.02.27 国際ロータリー第2550地区
第3グループA・Bインターシティーミーティング実行委員会
東日本大震災により被災遺児となった青少年たちが、学業継続できるよう活用してください。

2025.02.10 2710地区 松永ロータリークラブ
恒例のチャリティー・コンサートを12月に行った浄財です。出来るだけ続けて行こうとみんなで頑張っています。

***** 事務局からのお願い *****

ご支援を頂ける皆様へ

支援金のお振込みを頂きました時に合わせて

「送金確認書」をご記入の上、協議会事務局までFAXまたはメールでお送りください。

領収証とお礼状をお届けします。

「送金確認書」は、「ロータリー希望の風奨学金」のホームページのMENUの【ご支援くださる方へ】を開いていただくとありますので、ご利用ください。

追、「送金確認書」のご送付有り難うございます。「送金確認書」を、お送り頂きますと、支援者の皆様のお名前をホームページへ追加する際、地区名、クラブ名やお名前を追加表示する作業を手短に済ませることができます。今後とも、よろしくお願い致します。

連絡先

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
〒104-0031
東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内
Tel:03-5250-2050 Fax:03-4586-6393
メール:mail@kibounokaze.com

支援口座(口座名義)

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
千葉銀行 銚子支店 普通 3549340